

刊夕日一廿月十



定価 一部全紙一ヶ月五十五銭 郵費五銭
 廣告料五銭 印刷費一銭五銭
 日曜祭日の日休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日印刷局

肉食妻帯の是非

真 繼 雲 山

かつて命ありし者の肉は舌づゝみを打つといふのは慈悲ある態度といふことは出来ぬのである。更に又別の観点からいふと凡そ肉と云ふ以上、たとへそれが牛肉かしわ山海の珍味であらうとも冷かに見れば要するに死骸である理としてそれを清浄なりといふことは出来ぬ。必定して人間とは死骸の片附役、葬儀社の常用人夫たる役目を有する。佛法といふ清浄の法を求むるものが、不浄の肉にて腹を肥やすといふは道でない。人間が先づ肉を食ふといふ所業を断念しない限り、何者かによつて生物を殺すといふ悪業の繰返されぬわけにはゆかぬ。衆生これによりて苦毒を受けてゐるのであるゆへ、出家學道の士は先づ進んで此を断ずべきだといふのが殺生戒の出発点であり、同時にその歸結である。殺生戒の守らねばならぬ所以は成る程それで分つたとして、然らば蓄妻といふ方の淫事は是非かを検對して見る必要がある。

人間の本性は善か悪かといふ性善説、性悪説があるやうに、両性問題についても、それを何か汚れたものであるかのやうに罪惡視する見方と、反對に戀愛を神聖なりとする謂はゆる戀愛至上主義とがある。これを至當なりやといふに、それは場合による、場合とは分度であり度である、戀愛そのものが正、不正ではない、それに従ふ當人の程度の正、不正によつて定まる。火は燈火となりて闇を照らすが度を超ゆれば火事となる。一滴、枯渴をうるほすが度を超ゆれば洪水となり人畜を流す。夫婦の間におかれた正しき戀愛は人生の花としてやがて實を結ぶ、それが人生を形成してゐるのであるが、不正な條件のもとに結ばれた戀愛は明らかに罪惡でなければならぬ。然らば佛教に於てはこれを如何に見るかといふに、

【朝】味噌汁―納豆 小付 のり佃煮
 【晝】粟と松茸白ノース煮
 【晚】椀―さつま汁 皿やきのり 付合せ 酢取り生菜

文藝募集

づなに縛られる第一歩であり、それでは生死が離れ難いからである。まことの聖者であるなら妻子を持つとも、それに縛られることなく生死を離れし得やう。その道を歩んだのが在家の菩薩である。しかし聖者なほ且つ妻子を持つ、出離の至難を感じたであらう。俗界を遠離して彼等の山林に分け入りし所以はそこにある。況んや凡夫をや。

井坂醫院

平町 田町 電話五五九番

喜多流 謠曲と管舞の 稽古をお奨め致します

喜多流 謠曲 白土會
 平町田町六九 電話一二七番

門 專 産 婦 人 科 科 科
 花柳病科
 ◎入院隨意

井坂醫院
 平町田町 電話五五九番

玉屋洋品店
 平町田町通電話六五六番

はね つぎ
 平町才樋小路
 大河内接骨院
 電五八八

イヤ、
 「君い、服を求めたね……」
 レイの「リレ正札堂さ」
 東京一番のライオン印を
 お召し下さい
 正札堂洋服店
 平停車場通 電話四三六番

狐舎 大幸館
 私は平町出生ですから特に郷里の皆様方の爲めに御便宜を圖ります
 主人 比佐棟雄
 前野上京東 角通横局便郵谷下 番七七六園谷下話電

コロムビア・レコード
 十一月新譜發賣
 幻想交響曲 滿洲吹雪等其他
 十月二十三日午後六時からマルトモホールで 洋樂新譜試聽會 を開催致します 誰何も入場無料是非御來場下さい
 會田時計店 四丁目 電話三六三番
 金光堂時計店 五丁目 電話一九五番

各方面を網羅した

平商主催珠算競技

郡下の参加者を三部に分け 個人賞や団体賞を夫々授與

平商は来る十一月十四日午後一時から郡下の學生、町村史員、一般銀行、會社、官廳員を網羅した大珠算競技會を開催する、同競技會は

- 第一部 小學校高等兒童對抗
- 第二部 町村史員、第三部 一般生徒、銀行、會社、官廳員

と夫々三部分に分ち入賞者には五等迄各個人賞及び小學兒童に對してはその外團體賞が授與される筈で早くも此催しあるを聞き各方面では當日盤上に神技を競ふべく練習を開始したと

産馬の區長會 石城 産馬畜産組合の區長會は明

オリズムヒツクの旅

往來途上の印象記

松野尾 繁雄

尤も途中一ヶ所所降りた

さうだが「飛行機なんて大したことはないよ、一杯のんであるともうギリシヤだからね」などと、快氣焔をあげて一語にロンドンから飛行機にのるとき、初めて空に舞ひ上る私を煙に巻いて

たのであつた。

私の乗つた飛行機は三十二人乗であるが、大きな遊覧バスよりもつと大きい機體をしてゐた。プロペラがまはり初めたと思つたらもう天空へ。窓外の田園風景が超スピードに走り去

小濱更生に 猛然と起つ

廿萬圓の修築計劃

漁濱の疲弊困瘁を叫ばれ此の救済の急に迫られて居る折柄、本郡々南の小濱は良港を持たぬ爲め毎年漁獲高十二三萬圓に達するに拘らず水揚げが出来ず漁家の困窮益々甚だしく此の儘では自滅を免れぬ運命に遭着して居るので植田漁業組合(元小濱漁業組合)は總工費廿萬圓を投じ砂防堤五十米

社告

明日日本社秋季清潔法 施行のため明紙休刊 仕候間御諒承願上候 十月廿一日 常警毎日新聞社

濱三郡下教員の 洋畫展覽會開く

洋畫展覽會開く

本縣圖書教育研究會石城支部は来る十一月七、八の兩日濱三郡教育總會が平町に開かれるを期とし平第二校に濱三郡下教員洋畫展覽會を開催する事になつたが出陳種類は油繪、水彩、パスナル、テンペラ、素描版畫彫刻等美術の秋を迎へ

磐女對日立 球戦開始時間

既報来る二十五日のバザー開催當日行れる磐女對日立軍の籠排球戦は午前九時開始と決定した由

大時化の被害で 出陳品も大減少

意氣込んだ蔬菜園藝展 結局は三十餘點か

既報来る二十四日から四日間信達農試分場に開催される蔬菜園藝品評會に本郡からは最初百五十餘點の園藝品を出陳する筈であつたが過般の大時化で梨子が多量に落下したのを始め其他相

稲の坪刈 各村の日記

小川村は今二十一日稲の坪刈居るが、然しその接續地は對手國の主要地ではない。又その國境線は本國を去ること遠い。ところがヨーロッパでは國境線が對立する諸國間に人為的の線を劃して居る。此の線を境として人種、言語、文化、一切を異にし、而も國によつては仇敵の如く對立してゐる國境を越える爲に極めて不自然なものを感じたのは人ではなかつたようである。

期修築を計劃し縣並に農林省に施工を申請し同漁港の更生運動を猛然と起すに至つた

平町 人壽

- △舊城跡二〇長須留五郎氏 長女久江さん
- △二丁目三四當時東京市目黒區東町一〇五板橋勇治 氏三女フサ子さん
- △鍛冶町三〇當時湯本町宇上川一四根本隆重氏長女 琴江さん
- △仲間町四一江尻竹次郎氏 四男達司さん
- △長橋町三〇原幸三郎氏長男泰幹さん
- △柳町一六橋本富三氏五女 悦子さん
- △平町立町八九白土仙次郎 氏八男吉則さん

結婚

- △平町材木町一九好間村小田郷三〇居住宗像泰壽 (四六)氏北好間字槐作一 二白土ハナ子(三六)さん
- △山梨縣東八代郡宮村北都 安齊外科醫院

平町・田町 回死

- △二丁目四小原みつ子さん (四〇)
- △鎌田町一八渡邊豊次郎氏 (七六)
- △南町一八宮本俊美氏 (二七)

暴騰の前 秋の冬洋服 懸賞特賣

福永洋服店

福島縣平町田町十九 末廣料理店前 電話二二八

新製秋冬紳士服御誂 御假縫付仕立入念奉仕!

感謝品景提品

- (一) 背廣三ツ揃 金三十圓より
- (二) オートニング各種 金二十五圓より
- (三) モーニング各種 金四十五圓より
- (四) 立衿各種 金十二圓より
- (五) 二重廻一着 金二十七圓より
- (六) 東コート一着 金十六圓より

御注文一着毎に抽籤券進呈 (但シ金參拾圓以上)

特賣期日 九月十五日より 十二月三十日まで

抽籤發表 昭和十二年一月十五日 厳正に抽籤施行

本社來賓室

装ひ美々し

中西教諭の名畫 其他の力作堂々

本社新築社屋は既記の如くコンクリー二階建の外装美々しく長橋明の一角に出現したが、斯種建築物の白眉として毎日參觀者が相當數に達して居る折柄此の參觀者の眼を驚かし然も讚嘆久しよせしめて餘りある鮮麗な日本畫が昨日本社の來賓室を飾つて居る、それは今秋の文展に入選の榮譽を擔つて官展入選三回を數へ既に本邦美術界に名ある警女教諭中西一路畫伯の大作「奈良郊外」の壁畫である

同大作は以前中西教諭が東京銀座伊東屋に開催された風子社展覽會に出陳入選した快心の傑作

早春の奈良郊外に建つ古代色濃厚な一民屋に忍びやかな暮色がヒタ寄せる一瞬時を氏の獨特な繊細巧緻の筆に依つて捉へた風景畫で畫面に躍動する色彩の階調は静寂な氣品を一杯に溢れさせし観る者をして流石にと肯かしめずには置かない、尙ほ同日本畫に配するに第二小學校畫道精進の訓導に依つて組織される五人會同人の油繪、即ち

本社の附近を描いた渡邊啓二氏の「一本の道」及び橋本正雄氏の「赤い屋根の家」川崎社長蒐集の土

観の展畫華豪も恰

族入形をした松本清美氏の「人形」等々特徴ある異彩を放ち更らに前警女教諭酒井英吉氏の力作牡丹と小鳥の濃艶な扁額、阿部政右衛門氏寄贈の逸品筆者不明の「風景」油繪、また齋藤平南圖畫教師令息亮一畫伯の枯淡な興趣を誇る「静物」門傳辯護士夫人鍊達の手になる砂繪「海の朝」等何れも室内を隈なく美化し盡して來賓室は恰も畫展の觀を呈して居る

東北一の衛生室

平第三小學校の衛生室は去月初旬以來五丁目丸一屋材木店の手で工事中であつたが此程竣工した同室は赤津校長が縣下は勿論東北一と自任してあるだけであつて設備其他萬端遺憾なく充實したもので四丁目關内藥店は新築記念としてトラホーム近視眼水壓療眼機五ヶを寄附した由

因念つて酒をたかる

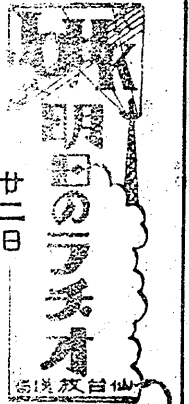
内郷村大字内町字前田炭礦機械掛大觀幸太郎(三)は平署のダニ狩りに掛り昨夜檢査されたが同人は常にカフエーに出入りし來客に喧嘩を吹かけては因念をつけ相手に酒を買はしてゴロつて居たものであると

茸狩りに出た儘歸らぬ老人

平窪村大字中平窪字古館農松本源八(三)さんは昨二十日朝附近の山に松茸狩りに行くと家を出たまゝ歸らぬの

消防が山中搜索

で家人は驚き平署に届け出る一方消防や青年團等の手を借り山中を搜索した處今朝五時頃同村熊ヶ平地内山



今晩は北西の風 晴 明日は南東の風 一時曇

今晩の部

梅若六郎他
後八四〇 マンドリン合奏 東京マンドリンクラブ
後八五五 浪花節連夜三題「天保水滸傳」玉川勝太郎
後九三〇 時報 ニュース 明日の話 氣象通報 番組報告

体育週間

平商は体育週間の催しとして十一月四日午前九時から

各學對陸上競技會を開催するが種目は百米、二百米、四百米、八百米、千五百米、八百米繼走、メドレリ、走高飛、走巾跳、三段跳、バレー、砲丸投、棒高跳等であると

藤井分會長が昇段

此程剣道五段練士に

平在郷軍人分會長で平商の剣道教師を囑託されて居る藤井一氏は去る十七日の新嘗祭を下した大日本武徳會々長から五段を允許された由

氏家檢事

明後日出發

既報福島地方裁判所に榮轉された平區檢事氏家文一郎氏は明後二十三日平發午前八時三十分で赴任すると

警中禁酒講演

日本國民禁酒同盟H・C・ヘンガ氏は東北生活更新會縣支

明日の部

前六三〇 基礎佛語講座
丸山順太郎
前七〇一 朝の修養「證道歌」菅原時保
前八〇三 家庭講座 文明と痛「岡本さかき」
後八〇五 俚語ラブソデ「八木節」磯節「月村光子」
後八三〇 國民歌謡 四家文子他「桃谷中繼」
後九〇〇 小學生尋問の時間 唱歌「汽車旅行」大阪市浪花校兒童
後二四〇 小學生尋問の代定吉 勿來町赤津修一 小林美定の諸氏
尙東京から同棋仙の集會の

酒の上から及傷

些細の事で相手に重傷

内郷村大字綴字一之坪坑夫鈴木(三)は去る十七日午後六時頃同村白水の木工場で同村運搬夫篠田善次郎(三)と飲酒中些細の事から喧嘩となり傍らにあつた工業用のノミを揮つて斬付け頭部に三ヶ所腹部に一ヶ所の重傷を負はせた事發覺今二十一日平署に檢査された篠田は炭礦病院で八針縫合の手當中

湯本山形屋に棋仙集ふ

第九回棋仙集會は来る十一月一日午前九時から湯本町山形屋旅館に開かれるが出席者は三段の佐藤庄太郎、初段の濱崎善三郎兩氏を始め

横領金を賭博に費消

賭博に費消

既報四百圓を拐帶逃走遊興中逮捕された四倉町生れ元赤井村川瀬炭礦糧食部係馬目彦太郎(三)は其後半檢事局で櫻井檢事の取調べを受けてゐたが今年七月頃から九月頃迄の間約五百二

平職案紹介所報告
人を求める方
職工 二十才前後 住込 日給五十錢
職工 廿才迄 日給五十錢
職工 三十才 高一
職工 四十才 五十才 迄 給料五圓外チップ
職を求める方
職工 見習 二十才 高卒
職工 六十二才 尋一修
職工 二十三才 高卒
職工 見習 十九才 高卒

繞る瓦解の謎

(續上)

悟道軒圓玉(作)
尾至陽(書)



二五一 幕軍揮はす
二股口は土方歳三が指揮官として決死の兵をしてこゝを守る、十六ヶ所に胸壁をきぎき押よせる官軍と戦つた、時は四月の十二日の午後三時より戦ひ、それが十三日の朝七時まで間断なく戦つた、この幕軍が費した弾丸はおよそ三萬五千發歐洲戦等に比較するとたはむれのやうに思はれるがその當時としては激戦です。さすがの官軍もこれを取り返すことが出来ずつひに退却した、幕軍は勝ちに乘じて一里あまり追撃して敵を斃したが、そこは戦にかけは玄人の土方歳三、引き上げのラッパを吹かして兵をまとめて二股口へ引つ返した。

松前に居つた幕軍は木古内、二股の戦勝を聞きこれに乗じて江差を乗取れと兵を進めた、十七日の朝、一隊は清部村に至り先手は江良町に入る、これは江差へ行く順路です。こゝは海岸のこと、官軍の軍艦春日から前進する幕軍に弾丸をおくる。この贈りものは有難くない。そのうち前面より官軍が密集してし

をを防ぐ幕軍であるが、山の上に居つた二百人が敵の爲めにやぶられ我先にと敗走する、これを見て官軍は幕軍を引つ包んで前後から攻めた、これが爲めにバタ／＼射ちたはされた、この時に胸壁にて指揮をして居つた幕軍の歩兵頭松岡四郎次郎は戦のさまを見て四郎「これはいかん、残念ながらこの戦は負けだ、いたづらに兵を失ふは残念、こゝは一時引きあげねばならぬまい、こゝでこゝらへてゐればとて援ひの兵は来るま



て兵をまとめてこゝを引きあげ翌日の午前一時頃やうやく福島まで退いたが、あれこれの一戦にて松前も官軍のため占領された、まことに残念であるが仕方ない、幕軍はこゝに守備兵を百人程おいてあとは五稜廓を指して引きあげる、こゝからは知内、木古内を守つてゐた大島圭介君も一時五稜廓に引きあげた、そのあとに指揮をとつて居つたは伊庭八郎、すると官軍は夜のうちより行動をおこして今夜があげなんとするその霧ふかきを利用して突然木古内の陣所を襲撃した、幕軍は敵の押しよせるに気がつかぬかつた。

に永く戦つて居ればみな殺しになるとそこで一先退却して折戸といふところまで来た、こゝも海岸でこれには幕軍の砲臺もあり、それ故追撃して来た官軍をこゝで食ひ止めむとした、すると官軍の軍艦は甲鐵を先頭に以上四艦この折戸の海岸から砲臺をのぞんで射つ、一方陸軍は鏡ひかゝる、これ

い、無理な戦をしてもいかぬ、それ見ろ敵の射ち出す弾丸は美しいぞ」といつたが市街村落に落下する弾丸はさながら蝶の飛ぶやうである、その當時この戦ひにたづさはつた人の日記にある、松岡は下知をして胸 据へた砲が敵の手に入るも役立たぬやうにし、敵の入るを待つ

足をやられたかな、これ待て待て右の腕もいたむが見てくれ」
ヌツと突き出した、これにも二ヶ所弾丸がある。

本日家の庭薬必備

ルメフ

皮膚外傷に
ににに

町田町平
舗薬部阿

三井タクシ

番五八六電・二平

外科一般
内臓外科

北川外科

レントゲン科

平町新川町二七(諸橋醫院跡)
醫學博士 北川芳夫
小林良次
電話四六四番

(血液検査毎日)
イッデモ入院出来マス

品自慢と
正直な値段

自轉車・リヤカ!

フタバ商會

新川町郵便局前

秋……味覺の秋!

杵すし自慢の……

おでんとなべ

……味は江戸前。種は江戸から本場からはまなべ。ねぎまなべ。よせなべ。しやこなべ。二十五錢均一御用命は電話六七九番へ。遠近に不拘御届け致します。

何卒御試食の程を……

江戸前 杵 壽 司

◇出前迅速

新發賣 貝焼 罐詰

味美 鯉鹽から

當店特製 節

魚問屋

賀志盛榮
平四丁目 (電話二一三)